

SDGsと地域づくりの新たな視点

2016年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)については、2030年の目標達成期限に向け、国においては内閣府による「自治体SDGsモデル事業」等の選定が始まり、自治体においてもSDGsの考え方を取り入れながら政策展開につなげていこうとする動きが広がっています。この研修では、SDGsについて基本的な知識を習得するとともに、自治体事例から地域の課題解決に向けた実践の中で、課題や目標の設定、施策の立案にSDGsをどのように活用していくのか、具体的な手法を学んでいきます。

*「SDGs(持続可能な開発目標)」

Sustainable Development Goalsの略。2015年の「国連持続可能な開発サミット」で採択された国際社会全体が取り組む2030年の目標。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、健康・福祉、経済、気候変動などの17分野に亘る目標と169のターゲット、230の評価指標で構成されている。今後、社会・経済・環境をめぐる広範な課題に世界各国の市民・企業・行政が協働して取り組んでいくための世界共通のものさしとなる。

研修のポイント

- SDGsについて基本的な知識を習得する。
- 導入の意義、目的、手法について学ぶ。
- 演習(カードゲーム)を通じてSDGsの本質を理解する。
- 先進事例や演習を通じて、アフターコロナを見据えた地域や自治体におけるSDGsの活用について実際に考える。

開催要領

日程	令和3年11月29日(月)～12月1日(水)(3日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	市区町村等で企画業務に携わる、市区町村等でSDGsに取り組んでいる(もしくは取り組もうとしている)職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。
募集人数	30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	令和3年10月7日(木)まで ※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込が難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。
申込方法	JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(https://www.jiam.jp/doc/)に掲載しております。
受講決定	受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

11月
29日(月)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～15:35 **講義** **自治体にとってのSDGs**
～導入の意義、目的、政策展開の手法～
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授 佐久間 信哉 氏
SDGsを自治体が導入する意義や目的、施策展開の手法についてお話しいただくとともに、SDGsの今後の展望などについても、ご講義いただきます。
- 15:50～17:00 **講義** **脱炭素社会に向けての自治体の取組**
～SDGs未来とグリーンリカバリー～
東京大学大学院工学系研究科教授(都市工学専攻長) 藤田 壮 氏
脱炭素社会に向けて自治体の取組をご紹介いただくとともに、ポストコロナの時代での持続可能な未来を実現する、環境と社会、経済が好循環する地域の将来ビジョン、「地域イノベーション」事業の計画の指針についてご講義いただきます。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和3年

11月
30日(火)

- 9:25～10:35 **事例紹介** **めがねのまちさばえが取り組むSDGs**
福井県鯖江市政策経営部総合政策課 参事 仲倉 由紀 氏
2019年度「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定された鯖江市の取組について、これまでの経過や課題、今後の展望などをご紹介いただきます。
- 10:50～12:00 **事例紹介** **多様な主体と共に進める金沢版SDGs**
石川県金沢市都市政策局企画調整課
2020年度「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定された金沢市。市民と観光客双方のしあわせを実現する「金沢SDGsツーリズム」の取組についてお話しただくと共に、庁内にSDGsを浸透させるための工夫や、様々な主体を巻き込むための働きかけなど、自治体がSDGsを進めるコツについてもご紹介いただきます。
- 13:00～17:00 **講義・演習** **SDGsの本質を体感して理解する**
株式会社プロジェクトデザイン 富山オフィスマネージャー 竹田 法信 氏
特定非営利活動法人イシュープラスデザイン 理事 小菅 隆太 氏
～「SDGs de 地方創生」カードゲーム体験～
「SDGsがなぜ必要なのか」「SDGsの導入によってどんな変化の可能性があるのか」などについて、カードゲーム「SDGs de 地方創生」を実際に体験します。
～ふりかえり・導入事例紹介～
カードゲーム「SDGs de 地方創生」で体験した内容をふりかえります。また、自治体におけるSDGsの導入事例等を紹介していただき、SDGsについて理解を深めます。

令和3年

12月
1日(水)

- 9:25～10:35 **講義** **SDGsの実践～アフターコロナを見据えて～**
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教 高木 超 氏
自治体の政策や担当業務にSDGsの観点を活用し、地域課題の解決に向けて、具体的な政策に結び付ける手法についてご講義いただきます。
- 10:50～12:00 **演習** **SDGsの実践**
～アフターコロナを見据えて～(ワークショップ)
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教 高木 超 氏
SDGsを考える上で重要なゴール・ターゲット間の相互連関(インターリンケージ)を、ワークショップを通して体感します。
- 13:00～14:10 **演習** **SDGsの実践**
～アフターコロナを見据えて～(意見交換・質疑)
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教 高木 超 氏
最後に、この研修を振り返り、SDGs導入に向けての意見交換や質疑応答を行っていただく時間とします。